



国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク

(倫理指針に則る情報公開)

～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で

アルツハイマー病、レビー小体型認知症、前頭側頭葉型認知症と診断された方、特に疾患のない方

【研究課題名】

バイオセンサーを用いたアルツハイマー病バイオマーカー分析

【研究責任者】

塚越 かおり(東京理科大学理学部第一部化学科)

【本研究の目的及び意義】

血液中の特定のタンパク質を測定することでアルツハイマー病（AD）の診断ができることがわかってきています。そこで私たちは、小型で使いやすい形状のAD診断用タンパク質測定センサーを新しく開発しました。本研究では、NCNPバイオバンクで保管している患者様の血液検体を使用し、センサー性能を調べます。認知機能に不安を持つ方を治療にいち早く繋げるための、どんな医療機関でも使える新しい診断機器の開発を目指します。

【本研究に提供する試料・情報】

血液（血漿）

診断名、年齢、性別、髄液検査結果

提供する試料・情報の取得の方法：バイオバンクにおいて広範な同意を得て収集した試料・情報

【研究期間】

提供後～2026年3月31日

【試料・情報等扱う機関】

東京理科大学

東京農工大学

量子科学技術研究開発機構

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520 E-mail: biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)